

企画展

SAY NO TO RACISM

—人種差別にレッドカード—

開催趣旨

2014年3月8日、埼玉スタジアムで行われたサッカーJリーグ浦和レッズ対サガン鳥栖の試合で、差別的な「JAPANESE ONLY」（日本人以外お断り）と書かれた横断幕が掲げられていました。事態を重く見たJリーグは、Jリーグ史上もっとも重い「無観客試合」の処分を決定しました。これに続いて、ヨーロッパでは、選手を愚弄するバナナ投げ込まれ事件も起こりましたが、有名なプロサッカー選手たちがこぞって人種差別に反対する行動をおおらかに表現して動画やフェイスブックなどで世界に発信しました。まさしく、人権尊重はサッカー活動の基盤であり、グローバルスタンダードであることを行動でもって示してくれました。本展では、今回の浦和レッズとJリーグのこの問題への対応を通じて、サッカーにおける差別的発言・行為の禁止を謳った取り組みや選手たちの行動を紹介し、国際的視野からサッカーが果たす積極的な役割について考えます。そして、子どもたちには、親しみのあるサッカーを通じて、豊かなスポーツ文化を創造し、国際協調、人権・平和の確立に貢献し、人権感覚を身につけた人材として社会で活躍してもらいたいと願っています。

2014年 7月22日（火）～9月20日（土）

- 共 催 大阪弁護士会／一般社団法人大阪府サッカー協会／公益財団法人大阪人権博物館
後 援 大阪府・大阪府教育委員会、大阪市・大阪市教育委員会、堺市・堺市教育委員会
公益財団法人日本サッカー協会
公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）
- 会 場 大阪人権博物館 ガイダンスルーム2
- 開館時間 火～金曜日 10:00～16:00（入館は15:30まで）
土曜日 13:00～17:00（入館は16:30まで）
※日曜日、月曜日、祝日、第4金曜日、年末年始、年度末は休館
- 入館料 大人 500円（400円）大・高生 300円（200円）小・中学生 200円（100円）
65歳以上 300円（200円）※障がい者（介助者を含む）は無料
（ ）は、有料入館者が20名以上の団体の場合割引料金

【展示構成】

- I 「JAPANESE ONLY」から考える
- II 人種差別に立ち向かう
- III FIFA STATUTESと日本のサッカー界
- IV 人種差別撤廃条約と私たち

◆主な展示資料

サイン入りユニフォーム・ボール
選手のメッセージ、新聞記事
「NO RACISM」横断幕、FIFAの規約
人種差別撤廃条約パネルなど

記念シンポジウム

「SAY NO TO RACISM - 人種差別にレッドカード -」

日 時 2014年8月30日（土）15:00～17:30

パネリスト 村井 満（Jリーグチェアマン）

木村元彦（「オシムの言葉」など著者）

コーディネーター 八十祐治（弁護士・元ガンバ大阪）

場 所 リバティホール（大阪人権博物館内）

定 員 275名（当日先着順）

- JR環状線「芦原橋駅」下車南へ約600m
- JR環状線・大和路線「今宮駅」下車西へ約800m
- 大阪市バス「浪速西3丁目」バス停下車西へ約200m
- 南海汐見橋線「木津川駅」下車東へ約300m

